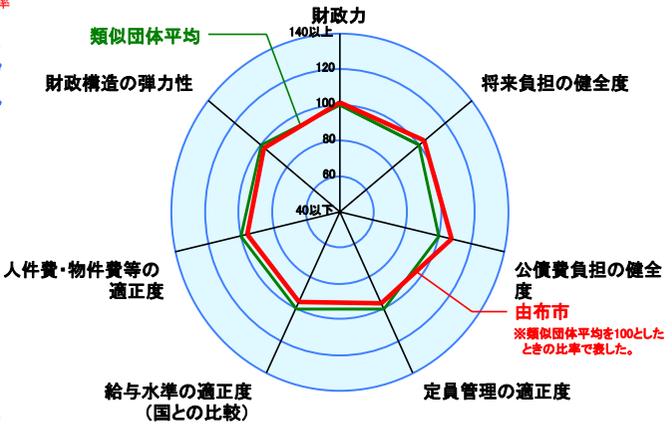
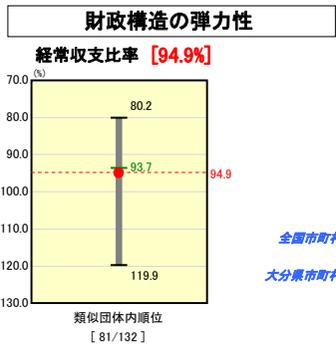
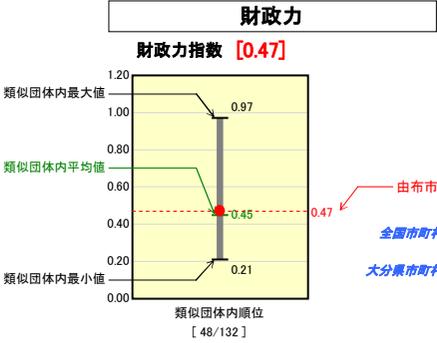


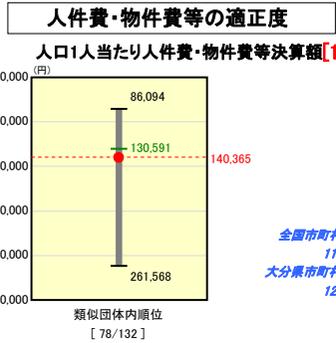
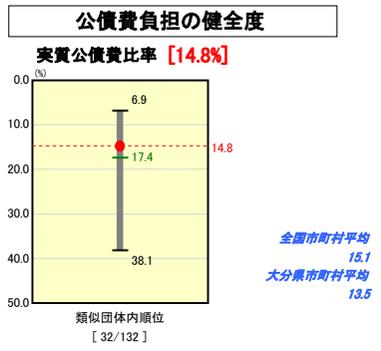
# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 大分県 由布市

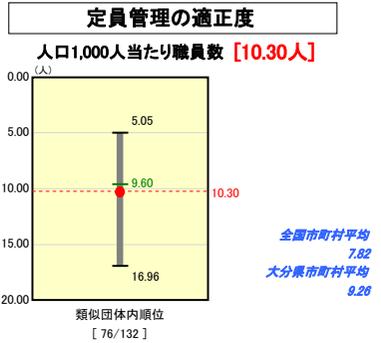
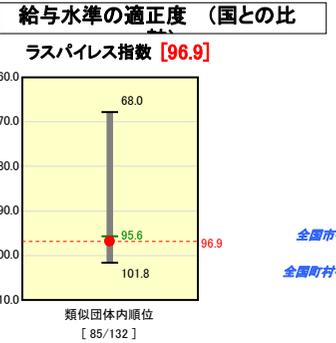
人口	36,612	人(H19.3.31現在)
面積	319.16	km <sup>2</sup>
歳入総額	16,380,887	千円
歳出総額	15,813,203	千円
歳入総額	463,518	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 分析欄

【財政力指数】(類似)0.45<(由布)0.47  
 ・平成17年10月1日合併により由布市となり、合併による財政基盤の強化が図られたところであり、類似団体と比較して僅かに上回る状況にある。今後も由布市として、歳出削減(5年間で財政調整基金残高を10億円以上保有)、定員管理(5年間で△8.9%)・給与の適正化を行う一方、地方税の徴収強化及び5年間で歳入140,000千円増等の取組みといった、行財政改革を遂行し財政基盤の強化に努め、引き続き財政力指数の向上に努める。

【経常収支比率】(類似)93.7%<(由布)94.9%  
 ・類似団体と比較し人件費に係る割合が上回る状況にある。公債費については財政健全化計画の実施により公債費残高を減らしつつ優良債を活用した事業を実施している。また人件費では平成18年度から職員の給与カット(特別職10%・一般職5%)を行い、今後も経常経費の削減に努める。

【実質公債費比率】(類似)17.4%>(由布)14.8%  
 ・由布市総合計画のもと、地域住民との意見交換を図り適量・適切な事業実施により、現時点では類似団体よりも下回る状況だが、今後大型事業の着手に伴い現在の水準に大幅な変動をきたすことのないよう、今後とも緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努め引き続き現水準を維持するよう努める。

【人口一人当たり地方債現在高】(類似)564,060円>(由布)472,517円  
 ・類似団体平均よりも下回る状況にある。現在高の主な内容としては、平成10年度から平成11年度にかけて実施した「健康文化センター はさま未来館」の建設等であるが、今後も類似団体平均の水準となるよう努める。

【ラスパイレズ指数】(類似)95.6<(由布)96.9  
 ・類似団体平均よりも上回る状況にあるため、平成18年度から実施している行財政改革で職員の給与とカット(左記 経常収支比率欄参照)を実施している。今後は定員適正化を踏まえ、より一層の給与の適正化に努め類似団体平均に近づくよう努める。

【人口1,000人当たり職員数】(類似)9.60人<(由布)10.30人  
 ・平成18年度に策定した計画により平成22年度までの間に8.9%削減とし、平成22年4月現在で234人を目指している。【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】(類似)130,591円<(由布)140,365円  
 ・類似団体平均に比べ上回る状況にあるのは、人件費では前述(ラスパイレズ指数・職員数)のとおりであり、物件費においては施設の維持管理の削減が急務である。今後は指定管理者制度の活用により経費の抑制を図り類似団体平均に近づくよう努める。